

定 時 株 主 総 会



当社では第42回定時株主総会を令和5年6月19日（月）共栄火災ビル大会議室において開催いたしました。当日は、株主総数73名中、73名（議決権行使書含む）のご出席を賜り、次の報告事項についてはご報告し、決議事項についてはご審議いただき、全議案とも原案通り承認可決されました。

■ 報告事項

当期の日本経済は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う行動制限や水際対策の緩和により景気回復が期待されたものの、長期化するウクライナ情勢、エネルギーや原材料の供給不安、円安進行等による広範囲かつ終わりの見えない価格高騰などにより不透明な状況となりました。

また、当社の関連する信用金庫業界においては、地域経済の持続的成長ならびに地域創生の一環として、創業・事業再生・課題解決支援、ビジネスマッチング・人材マッチング、DXやSDGs等の促進など、様々な取引先支援が行われました。

一方、当社では、昨年3月に設立40周年を迎え、信用金庫業界の情報サービス会社として、時代に即したシステム・サービス提供に向け、レガシー的経年システムの総点検、改善・再構築を行い、既存サービスの安定稼働・利用拡大を図るとともに、当社独自の決済関連事業により他業界から継続的な収益を確保し、引き続き安定経営に努めました。

また、信用金庫向けICT情報発信の一環とし

て、4年ぶりに「しんきんコミュニケーションフェア」を開催し、10年先の金融DXを見据え、AI技術等を利用した各種ソリューションを展示・実演しました。

信金業務サポート事業では、自動機監視サービスの更なるオペレータ対応品質向上と効率化に向けて、音声認識AI技術を駆使したコストパフォーマンスに優れた最新のコールセンターシステムの構築を進めるとともに、手形・小切手発行サービスにおける電子交換所へのシステム対応、継続的顧客管理や未利用口座管理手数料に係わるDM作成、INS回線終息に伴う各種システムの光回線への移行対応など、環境変化や金庫ニーズに合わせたシステム・サービスの提供や既存サービスへの機能拡充に精力的に取り組んでまいりました。

また、新しんきん為替集中サービス（為替BPOサービス）では、2年に亘る旧システムからの移行作業が本年3月に完了し、他地区を含む84金庫（全国の約1/3の信用金庫）が利用する規模のサービスとなりました。

決済関連事業では、社会インフラの一部を担

う当社独自の決済スキームであるMMK窓口収納サービスについて、スマートフォンアプリで請求書払いができるPayPay・LINE Pay等の決済事業者との連携による収納件数増により年間の取扱件数は3,192万件（前期比280万件増）となりました。

その結果、信金業務サポート事業における満期案内DM・自動機監視サービス・アンパンマン・共同調製等の売上減があったものの、為替集中サービス・継続的顧客管理DMの利用金庫増、決済関連事業における収納件数増に伴う売上増により、売上高は目標51億5千万円に対し、52億5千2百万円、当期純利益は、為替集中サービスの新・旧システム並行稼働および旧システムの残債償却（当期分）による費用増があった

ため、1億6千8百万円となりました。

これも偏に株主信用金庫および関連団体・関連会社ならびに関係先の皆様のご支援、ご理解、お引き立ての賜物と深く感謝申し上げます。

当社では、引き続き、業界の情報サービス会社として、社会・情報システム環境の変化に柔軟に対応するとともに、40年に亘る「株主信用金庫・関連団体・関連各位のご支援・ご尽力に深く感謝する」を忘れることなく、より一層信用金庫に寄り添ったシステム・サービスの提供・安定稼働ならびにサポート体制の拡充に努め、信用金庫業界の更なる発展のために全社一丸となって取り組んでまいり所存でありますので、今後とも、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■ 決議事項

第1号議案 第42期（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表）承認の件

第2号議案 剰余金の処分の件

第3号議案 役員賞与支給の件

第4号議案 監査役1名選任の件

以上決議事項の第1号議案、第2号議案、第3号議案および第4号議案について、原案通り承認可決されました。

株式会社しんきん情報サービス 役員

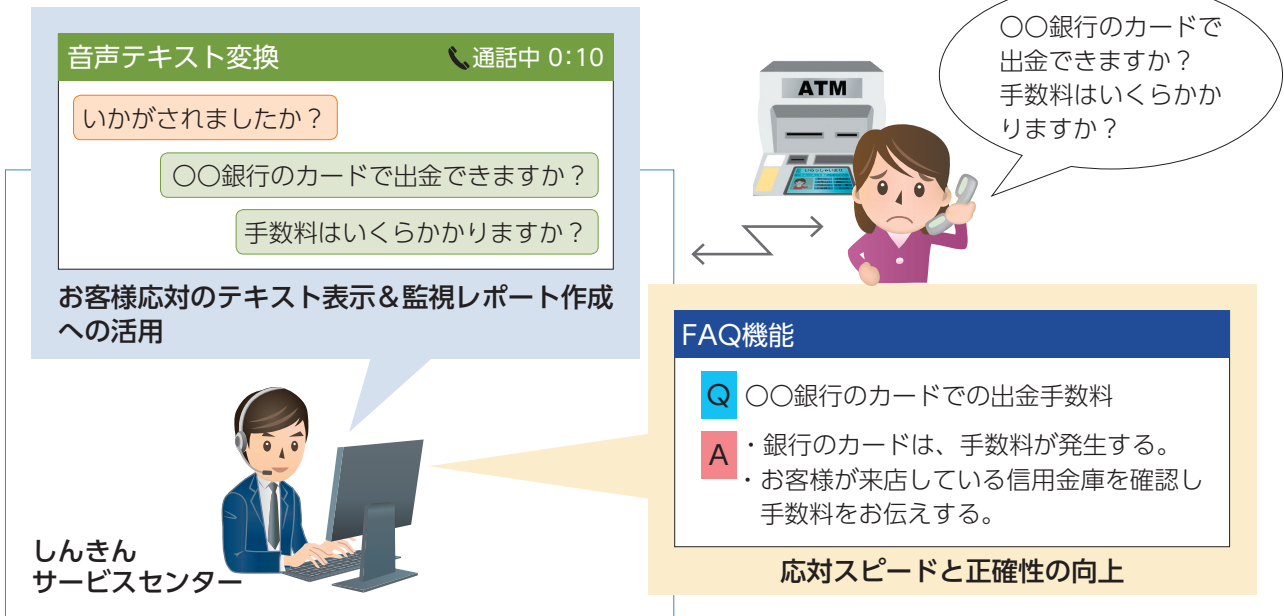
令和5年6月19日現在

代表取締役会長	矢澤 孝太郎	亀有信用金庫	理事長
代表取締役社長	飯吉 真		
代表取締役専務	古佐賀 正泰		
常務取締役	小見 和憲	総務部長兼務	
取締役	小森 哲一	佐原信用金庫	理事長
取締役	澁谷 哲一	東京東信用金庫	会長
取締役	大前 孝太郎	城北信用金庫	理事長
取締役	八木 敏郎	多摩信用金庫	理事長
取締役	伊藤 康博	朝日信用金庫	理事長
取締役	平松 廣司	かながわ信用金庫	理事長
取締役	五味 節夫	山梨信用金庫	理事長
取締役	塙 由博	水戸信用金庫	会長
取締役	西 湧一	三条信用金庫	会長
常勤取締役	志田 成之	決済ビジネス推進部長兼務	
常勤監査役	山口 覚		
監査役	木村 浩司	佐野信用金庫	理事長
監査役	土屋 武司	足立成和信用金庫	理事長
監査役	入澤 達也	北群馬信用金庫	理事長（新任）

当社では、この体制のもと株主信用金庫のより一層のご期待に添うよう精励いたす所存でございますので、今後とも引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

自動機監視サービスのコールセンターシステムを刷新 最新のAI技術とDXで高品質なサービスを提供

長年培ってきたコールセンター運営のノウハウを活かしたAIによる音声認識やFAQを搭載し、顧客対応品質の向上を図るとともに、クラウド化（Microsoft Azure）により、システムを東西2拠点でバックアップし、BCP対策の強化を図ります。



※システム更改に合わせて、AIMS（自動機情報管理システム）の接続がFTF網からVPN網へ変わります。

ATMトータル管理サービスのご紹介 ～ ATM管理業務の負担軽減～

自動機監視サービス店舗を対象に、障害対応、在高情報をもとにした資金計画、現金装填・回収、精査、コーナー美化等を提携警備会社と連携してATMコーナーの運用管理全般を支援いたします。無人出張所を中心にご利用いただいておりますが、近年では、金庫職員の負担軽減を図り窓口業務へ専念できることから有人店舗でもご検討いただいております。

